

伝説の前衛舞踊家に寄せる全身全霊の讃歌 (Los Angeles Times)

Dance Archive Project 2017 in SAITAMA ダンスアーカイブプロジェクト作品 4 都市巡回公演

川口隆夫

Takao Kawaguchi

「大野一雄について」

About Kazuo Ohno



彩の国さいたま芸術劇場小ホール
2017年12月2日[土]・3日[日]

川口隆夫

Takao Kawaguchi

「大野一雄について」

About Kazuo Ohno



Photo : Mara Arteaga

【会場】 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

【公演日時】 2017年12月2日(土) 15:00-17:00 (開場14:30)
2017年12月3日(日) 15:00-17:00 (開場14:30)

【チケット】 全席自由・税込
一般前売 3,000円 一般当日 3,500円
U-25前売 2,500円 U-25当日 3,000円

【チケット発売日】 9月2日(土)
※U-25: 公演時25歳以下対象。入場時要身分証。 ※未就学児入場不可。

コンセプト・演出・出演: 川口隆夫 振付: 土方巽、大野一雄
ドラマトウルク・サウンド・映像: 飯名尚人 照明: 溝端俊夫 衣装: 北村教子

ダンスアーカイヴの活用から生まれた作品、川口隆夫の「大野一雄について」は世界の舞踊シーンに独自の軌跡を描きつつ、上昇飛行を続けています。大野一雄の代表作「ラ・アルヘンチーナ頌」(1977)、「わたしのお母さん」(1981)、「死海」(1985)の記録ビデオを分析し、舞踏家の微細な動きのみならず、観客の咳払いからビデオ収録の操作ミスまで「完全コピー」する一方、大野一雄の前衛映画「O氏の肖像」(1969)を大胆に再解釈してパフォーマンス化する力強いコンセプトは、「大野一雄」を知る、知らないを越えて、世界の観客を魅了し、勇気を与えて来ました。初演から4年の歳月を経てなお成長を続けるこの希有な作品に、ぜひ立ち会って下さい。

川口隆夫 | 1996年よりパフォーマンスグループ「ダムタイプ」に参加。並行して2000年よりソロ活動を開始。主な作品に「ディケノヴェスー 見えないと言え」(2003)、「D.D.D. — 私の心臓はあと何回鼓動して止まるのか?」(2004-2007)、「グッド・ラック」(2008)、「TABLEMIND」(2011)。近年は「病める舞姫をテキストに — 2つのソロダンス」(2012)、「大野一雄について」(2013)など舞踏についてのパフォーマンス作品を制作している。また東京国際レズビアン&ゲイ映画祭のディレクター(1996-99)を務めるなど、その活動は多岐に渡っている。

「大野一雄について」上演記録 2013-2017

- 2013 8月 初演 d-倉庫「ダンスが見たい」フェスティバル(東京)、10月 大野一雄フェスティバル(横浜)
- 2015 2月 Dance Archive Project(横浜)、9月 光州(韓国)、ミュンスター(ドイツ)、ザグレブ(クロアチア)、11月 春秋座(京都)
- 2016 5-6月 欧州ツアー:ブリュッセル(ベルギー)、ビルバオ(スペイン)、リスボン(ポルトガル)、8月 ジャカルタ、ジョクジャカルタ(インドネシア)、9-10月 北米7都市ツアー:ニューヨーク、ロサンゼルス、ピッツバーグ等
- 2017 1月 ノルマンディー(フランス)、2月 サンティアゴ・デ・コンポステラ(スペイン)、メルボルン(オーストラリア)、4-5月 メキシコツアー:ソノラ、メキシコシティ、8-9月 欧州南米ツアー:ウイーン(オーストリア)、ベルリン(ドイツ)、ワルシャワ、クラコフ(ポーランド)、カンピナス、サルバドール(ブラジル)、10月 ターミナルプラザことに PATOS(札幌)、11月 神戸アートビレッジセンター、12月 高知県立美術館ホール

関連プログラム

川口隆夫 ボディ・スカルプチャー・ワークショップ
「大野一雄について」制作過程から

2017年11月3日(金祝) - 4日(土) 14:00-17:00
参加費: 2日間で6,000円 会場: 彩の国さいたま芸術劇場
参加資格: 舞踊及びその他ジャンルで芸術活動を行う人。定員: 25名
特典: 公演チケットご購入の方は、参加費5,500円
[申込み] NPO法人ダンスアーカイヴ構想
TEL: 03-3450-6507 E-MAIL: info@dance-archive.net

大野一雄は「魂の踊り」によって世界中の人々を魅了しました。その秘密は何でしょうか。このワークショップでは、大野の代表作初演記録ビデオ(抜粋)を見て、その踊り/動きを「コピー」することを試みます。何気ない小さな動きから、彼の身体やその周りに生成する空間の連なり。意識・無意識を問わず、つまづきやズレに至るまで細部を細かく観察し、あたかも身体を彫刻するように、「形」を自分の身体へと写しとっていきます。ビデオクリップを見ながら作業しますので、参加者はビデオ再生のできるデバイス(ノートパソコン、タブレット、スマートホンなど)を持参してください。

展示「モダンダンスから舞踏へ」

2017年11月3日(金祝) - 12月3日(日) 9:00-22:00(休館日除く)
[オープニングパーティー: 11月3日(金祝) 17:30-18:30]
休館日: 11月6日(月)、13日(月)、27日(月)
会場: 彩の国さいたま芸術劇場 ガレリア / 入場無料
大野一雄の写真、ポスター、草稿などのアーカイヴ資料を展示します。特別展示として、「舞踏」前夜のモダンダンス作品「老人と海」(1959)のオープンリール音源デジタルマスター、当時大野一雄がヘミングウェイに宛てた書簡原稿等を初公開します。



大野一雄直筆創作ノート

大野一雄アーカイヴ映像上映

2017年12月2日(土) 13:00-14:10 「O氏の肖像」(1969)
2017年12月3日(日) 13:00-14:10 「ラ・アルヘンチーナ頌」初演(1977)
会場: 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
いずれかの日にちの「大野一雄について」公演チケットで両日の上映を観覧できます。映像ホール入口でチケットをご提示下さい。

川口隆夫「大野一雄について」の典拠となる、大野一雄のモノクロ映画「O氏の肖像」(1969)、と「ラ・アルヘンチーナ頌」(1977) 初演映像を上映します。画質はよくありませんが、20世紀舞踊史の歴史的映像です。デジタルマスターからのDVDとBlu-rayによる上映です。



Photo : Naoya Ikegami

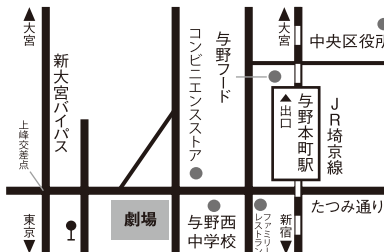
【予約・問合せ】

□ 劇場チケットセンター: 0570-064-939(劇場休館日を除く10:00-19:00)
窓口: 彩の国さいたま芸術劇場(休館日を除く10:00-19:00)
埼玉会館(休館日を除く10:00-19:00)
PC: <http://www.saf.or.jp/>
Mobile: <http://www.saf.or.jp/mobile/>

□ NPO法人ダンスアーカイヴ構想

TEL: 03-3450-6507 E-MAIL: info@dance-archive.net

【アクセス】



〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
TEL: 048-858-5500(代) FAX: 048-858-5515
● JR埼京線 与野本町駅(西口)下車 徒歩7分
● JR京浜東北線北浦和駅から西武バス「大久保」「大久保団地」「加茂川団地」「浦和北高校」行き、または 国際興業バス「さいたま新都心」行き、「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分
● 新大宮バイパス上峰交差点より200m
※駐車場(有料)台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

